

【事務事業調査】

事務事業名	協働推進費	予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-02-01-12-003-04-01-0
担当部課	住民生活部住民課	担当 リーダー	協働推進担当 山野井 紀泰
		事業の分類	新規事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	職員を対象に、協働の意味、協働することの意義など、協働を進めるうえでの共通認識を図るために、研修を実施します。(職階別に年2回程度、場合によっては時間外開催。)(特別職:部長クラス、所属長クラス リーダークラス サブリーダー以下クラス)	職員間で、まちづくりのひとつの手段としての「協働」について共通認識が図れ、取組みの基本的な考え方(協働の意味、協働することの意義、どうやるのかではなく何のためにやるのか、など)を統一することができます。
実績	第1回 9月3日(水) 13:20-14:30 対象:課長クラス以上 出席者:20名 第2回 9月3日(水) 15:30-16:55 対象:リーダー以下 出席者:84名 第3回 9月18日(木)10:00-11:45 対象:リーダー以下 出席者:74名 第4回 2月11日(水・祝)14:00-16:10 対象:全職員 出席者:18名 (出席率:86% 実数178名/対象者207名)	協働の意味や協働することの意義などについて、職員間の共通認識が図れました。また、協働について改めて考えるきっかけにもなりました。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
職員研修会開催	8回	4回	「協働」は、事務事業を進め方、考え方です。「協働」という事業を実施するのではなく、「協働」という手法を用いて取り組むという発想の転換、つまりは職員の意識改革です。スキルアップのひとつとして研修を行いました。 なお、上半期は職階別に実施しましたが8割を超える職員が出席したことから、下半期は他部署と連携し、集約して実施したものです。

事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償金	160,000
2 普通旅費	95,400
3 食糧費	3,200
4	
5	
6	
7	
8	
	258,600

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償金	160,000
2 消耗品費	100,000
3 食糧費	4,000
4	
5	
6	
7	
8	
	264,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 報償金	60,000	@20,000×3回(第1回～3回) 第4回については、自治公民館長連絡協議会(事務局:生涯学習課)主催の講演会を充てたため支出はありませんでした。
2 消耗品費	91,200	研修テキスト(協働スタートブック)@400×228冊
3 食糧費	0	全日または夜間の開催はなかったため、講師の食事にかかる支出はありませんでした。
4		
5		
6		
7		
8		
	151,200	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		264,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		264,000	
決 算	決算額		151,200	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	258,600	151,200	